

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アトリエ・キッズ高崎北		
○保護者評価実施期間	2026年1月16日		2026年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2026年1月16日		2026年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々でスケジュール化	やるべき活動が目に見えて、取り組みやすくなっている	パーテーションを使用し、集中できるスペースの確保
2	保護者さんのニーズに合った送迎	学校行事等で早く終わる時でも、柔軟に対応している 保護者さんからも「助かります」の声を頂いている	送迎者と人員が増えれば、待たせる事無くお迎えに行ける 次のお迎えが5分しかないとなると、どうしても後の学校で待たせてしまっている
3	利用者さんのニーズに合った外出活動も豊富	飽きさせないためにも、スタッフで意見を出し合い、利用者さんや保護者さんからもアンケートを取り、季節に応じてお出かけしたりと工夫して活動内容を決めている	年に数回特別活動(お出かけイベント)を開催予定

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・スタッフの人数が足りない時がある	学校お迎えの際、続けて行く事があるが、後の学校で待たせてしまう事が多々ある	スタッフの確保
2	・事業所内での交流がメインとなっており、外部のお子様や地域の方々の交流に関してはほとんど実施していない。	外部のお子様との関わりに関しては、お子様同士のトラブルや事故・怪我のリスクが想定されるため、安全面の観点から実施を控えている。	地域の方々との関わりについては、近隣の施設やスーパーなどでの買い物体験を通して対応することが可能であると考えられる。職場体験等、社会性を高められるような支援を今後検討していく。
3	・ご家族に対して家族支援プログラムなどの取り組みがあまり実施できていない。	今年度は保護者会の実施をしているが、これまで実施を控えていたことから、まだ保護者様同士で関わる機会が少ない。そのため、保護者様同士の関係性がまだ深まっていない。	保護者会だけではなく保護者様同士での関わりやすさも考慮し、親子参加型のイベント等を検討していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 アトリエ・キッズ高崎北

公表日 2026年3月2日

利用児童数 19

回収数 13

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9		4		*人数の割りに狭いと感じる	*工夫していきたいと思います
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10		3		*スタッフの人数が足りないように感じる *併用している所と比べると少ない	*スタッフの補充を掛け合います
	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5	3	5		*事業所にあまり訪問できていない為未確認	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	7	3	3			
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10				3	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	3				*今後もお子様方に興味を持ってもらえるような活動を提供してまいります
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。				3	10	*機会があれば参加したいと思います
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10	3				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		6			7	
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13					*色々のご意見を頂いてます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	3				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	3	5			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	2		*確認していない	・今後もSNS等で活動の様子を継続して更新してまいります
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	2			・今後も個人情報保護の徹底を行います
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10			3	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3			10	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13			3	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11		2		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10		3	*お出かけが楽しみのようです *どこかへ連れて行ってくれたりと、飽きないように工夫してくれて助かります	・貴重なご意見ありがとうございます。 ・今後もお子様方に楽しんでいただけるような支援を提供してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13			*助かっています	・今後ご満足いただけるような支援を継続してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2026年3月2日				
アトリエ・キッズ高崎北						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	2		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	3		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		・スケジュールの場所、余暇の場所と分けている	パーティーションを利用し、さらに活動しやすい空間づくりを
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1	・常に意見交換を行っている	パートさんに行き届いてない事もあるので、周知できるようにしていきます
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	・常に意見交換を行っている	パートさんに行き届いてない事もあるので、周知できるようにしていきます
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		第三者委員会は無いため
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・定期的に研修をおこなっており、外部研修などの案内も随時行われている。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		・HPでは公表している	中々保護者さんには伝わっていない為、面談の際再度説明は行っている
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		・共通理解が出来てない点もあります	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1		・フォーマルアセスメントは学校などと協力して外部で行っている
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1		・具体的には全て入れ切れていないので、徐々に変えて行く予定です
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		・定期的に話し合いを設け意見交換をしている	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		・定期的に話し合いを設け意見交換をしている	・他事業所の活動も参考にしている
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		4	・出勤時間・お迎え時間が重なってしまう為、全員での打ち合わせは行っていない	・LINE等を活用し周知している
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	2		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		・日報として記入している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4			地域交流を増やしていく
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	1		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4			・障害福祉サービス事業所へ移行した利用者さんは居ないが今後は対応していく
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4		・各関係機関とは連絡を取っている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4		・交流の機会があれば積極的に参加する
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		・送迎時等に伝えている ・何かあれば電話での対応	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		・契約時に実施	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		・何かあったらいつでも連絡下さいと伝えている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		・SNSで発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		・年2回の避難訓練を実施している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		4		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		・毎月の合同会議でヒヤリハットの共有および分析をおこなっている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		・虐待防止および身体拘束適正化の研修を年2回おこなっている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4				